



Press-release/E-flashから

『ITUジャーナル』編集部

Press-release

① 9月13日

デジタルディバイド解消の進展

ITUレポートが開発途上国における電話接続で進歩を例証

Progress made in bridging the digital divide

ITU report cites advances in connectivity among least developed countries

(出典：<http://www.itu.int/newsroom/press-release/2006/16/html>)

ITUは、ニューヨークで本日、開発途上国におけるICT/電気通信開発に関するレポートを発表した。このレポートは2001年から5年間の世界の最貧国での動向や挑戦を含むICT技術と電気通信セクターの主な開発を検証している。このレポートは、途上国50か国中25か国が集まり決議されたブリュッセル行動計画で設定されたデジタルディバイド解消と電話普及率の向上にかなりの進展があったことを示している。このレポートは、2001～2010年の開発途上国のためのブリュッセル行動計画の実施中間見直しで電気通信/ICTを通じて世界経済に開発途上国を組み込むことに関する特別セッションで明らかにされた。ITUによると、携帯電話技術の導入による急速な成長のおかげで幾つかの途上国の電話接続を20倍にも押し上げ、2000年以来電話普及率は大半の途上国で2倍以上になった。途上国でのユニバーサルアクセスに向けての競争は、カーボベルデ、モルディブやサモアのような小さな島の途上国やガンビア、レソトやモーリタニアのような平均より小さい国々によってなされている。それらの幾つかの国々は、多くの途上国をはるかに上回る数値（普及率：44（人口100人当たり44回線））を達成している。

② 9月25日：

第5回ITUテレコムワールド2006ユースフォーラム、世界の若手論客が香港に集う

The world's young visionaries gather in Hong Kong for 5th ITU Telecom World 2006 Youth Forum

ベリーズ、キューバ共和国、ラオス人民民主共和国、パラグアイ共和国、カタール国の学生が初参加

Students from Belize, Cuba, Lao, Paraguay and Qatar join for the first time

(出典：www.itu.int/newsroom/press_releases/2006/17.html)

150の国から250人を超える若手の論客が、12月3～8日に香港で開催されるITUテレコムワールド、ユースフォーラムに参加することとなった。ユースフォーラムは、ITUが主催しており今回が5回目、ICT情報通信技術分野の将来を担う知識と能力を持った大学生年齢の男女が集い、若者の世界的なネットワーク作りと意見交換を行う。参加する若者は、人々の生活改善のためにICTをどのように活用すべきかをエッセイにまとめて提出し、ITUのユースフォーラム諮問委員会で審査した結果選ばれたものである。ユースフォーラムフェローと呼ばれる参加者は、政府や企業幹部、技術専門家、コンテンツプロバイダーや計画立案者たちに相談しながら討議を重ねて、ICTのメリットを世界中に普及させていくための方策を「Declaration and Action Plan：宣言と行動計画」としてまとめ、テレコム期間中に発表する予定である。ITUテレコムワールド2006の主催国であり、ユースフォーラムの後援者である中華人民共和国は、50人の若手中国人大使を組織し、ユースフェローの世話をするとともに、テレコムワールドに対する若手レポーターとして活動させることとしている。

③ 10月25日：

ITU TELECOM EUROPE 2007 ブルガリアで開催

最も新しいEU加盟国が最も新しいテレコムイベントを招致

ITU TELECOM EUROPE 2007 heads to Bulgaria

Newest EU Member State to host newest TELECOM event

(出典：<http://www.itu.int/newsroom/press-releases/2006/19.html>)

域内のICT産業に魅力的なショー・ケースとも言えるITU TELECOM EUROPE が、2007年12月3～6日、ブルガリアのソフィアで開催される。2007年、ブルガリアにとって画期的と言えるEU加盟に合わせてITUから本イベント開催の発



表が行われる。

「繁栄するICT分野や戦略的な地理的要所によってブルガリアは域内を通じて理想的で優位な位置を提供している」とITU TELECOM Executive ManagerのFernando Lagranaは述べている。

競争入札プロセスに従い、非常に強い産業競争力と国レベルでの支援など幾つかの理由でブルガリアが開催国に選ばれた。

最新のICT革新技術の展示会と主要な課題、政策、域内の成長を下支えする技術に焦点を当てたフォーラムなどでITU TELECOM EUROPE は2007年の域内の主要なイベントとなるだろう。

④ 11月9日：

**2006年のノーベル平和賞受賞者がITUテレコムで講演
2006 Nobel Peace Prize Laureate to address ITU
Telecom World**

Yunus教授、オープニングセレモニーで講演

**Prof. Yunus to make major announcement at Opening
Ceremony**

(出典：www.itu.int/newsroom/press_releases/2006/21.html)

Grameen Bankの創設者で、今年のノーベル平和賞の受賞者でもあるMuhammad Yunus教授が、11月3日香港で開催されるITU世界テレコム2006のオープニングセレモニーで講演する。

ITUのConnect the Worldプログラムの初期からの支援者で、主導的リーダーの一人でもあるYunus教授によるこの講演は、デジタルデバイドを解消し“2015年までに世界中のあらゆる地域をつなごう”という目的に向かって貴重な一里塚となる。

今年5月、ITU世界情報社会アワードを受賞した際、教授はグローバルICT企業に対して、「マイクロクレジットは貧困とICTをつなぐ有効な手段であり、ICTは貧しい人々、特に女性たちを貧困から早く救い出せる有効な方法である。ICTを使って貧しい人々に収入をもたらすビジネスの仕組みを作り出すことが必要である」と呼びかけてもいる。

⑤ 11月10日：

開発途上国用のICTの政策と規制の新たな訓練プログラムに関して、ITUとIDAはシンガポールの経験を基に協力

New training programme in ICT policy and regulation for developing countries

ITU and IDA to collaborate to share Singapore's experience

(出典：http://www.itu.int/newsroom/press_releases/2006/22.html)

2006年11月10日、トルコのアンタルヤにおいて、シンガポールの情報通信開発局とITUは、ICT (information and communication technology) の政策と規制に関して、新しい管理訓練プログラムの共同開発をすることに合意した。合意書は、シンガポールのLee Boon Yang大臣が、トルコのアンタルヤにおける全権委員会議にこのような協調を求めて今週初めに行われたスピーチに従って、10日に調印された。この管理プログラムは、eGL (Singapore's e-Government Leadership Centre) で準備される。

この構想は、アジアパシフィックの、通信/ICTの政策や規制の連携の地域的促進と手をつないで進める。これは、アジアパシフィック地域のITUメンバーによって提案され、2006年ドーハの世界通信開発会議で採択され、以下を目的としている。

1. 地域及び準地域における規制での協力の促進
2. 一般的な現在の通信/ICTの問題についての、政策や規制の技術や枠組みの開発支援
3. 情報、経験及び最良の慣行を共有し交換するための仕組みの確立と実施

⑥ 11月10日：

ITU全権委員会議で事務総局長と事務総局次長が地滑りの過半数獲得で選出される

ITU Secretary-General, Deputy Secretary-General elected today by Plenipotentiary Conference Landslide majority obtained

(出典：http://www.itu.int/newsroom/press_release/2006/23.html)

国際電気通信連合 (ITU) のメンバー国はマリのMr Hamadoun I. Toure を4年任期でITU事務総局長に選出した。選挙はトルコのアンタルヤで開催中の第17回ITU全権委員会議の会期中に行われた。Mr Toure は出席の155か国(票) の中95票を獲得し、当選に必要な過半数78票を越えた。事務総局長の選挙で、過半数の条件を満たすため第3回目



の決戦投票が行われ、対抗馬のMr Mathias Kurth (ドイツ) は60票であった。

午後の選挙で、中国のMr Houlin Zhao が第1回目の投票で93票を獲得し事務総局次長に選ばれた。スペインの Mr Carlos Sanchez は34票、トルコのMr T. Ayhan Beydogan は28票を獲得した。ガーナの Mr John Ray Kwabena は投票前に選挙から降りた。

新事務速局長と新事務総局次長の略歴

Mr Toure:

<http://www.itu.int/plenipotentiary/2006/newsroom/election/bios/toure/index.html>

Mr Zhao:

<http://www.itu.int/plenipotentiary/2006/newsroom/election/bios/zhao/index.html>

選挙結果の詳細は本号トピックス欄 (P.3) をご参照下さい。

⑦ 11月15日 :

開発途上の国々にNGNを理解してもらうため電気通信開発シンポジウムを開催

ITU hosts Telecommunication Development Symposium for Developing Countries to Explore Next Generation Networks

世界の技術指導者間の連携を深めるとしてシスコシステムズがシンポジウムを後援

Cisco Systems sponsors Symposium to foster collaboration among global technology leaders

(出典 : www.itu.int/newsroom/press_releases/2006/24.html)

ITUは2006年12月5~7日に、中国香港で開催されるITU世界テレコム2006の一環として、第10回世界電気通信開発シンポジウム (TDS-06) を開催する。先進国や国家収入の低いITUメンバー国90か国からの180名を含む、情報通信技術 (ICT) のリーダーたちが、ICTをどのように活用すればデジタルデバイドを減少したり、それぞれの国の繁栄に結びつけられるかを話し合う。TDS-06のテーマは、開発に役立つ

・技術とインフラ

- ・実現可能なビジネス
 - ・持続可能な環境
- などを中心に話し合う予定である。

⑧ 11月15日 :

全権委員会議 (Plenipotentiary Conference) でITU3局長選出される

Plenipotentiary Conference Elects ITU Bureau Directors
(出典 : http://www.itu.int/newsroom/press_releases/2006/25.html)

2006年11月14日、トルコのアンタルヤにおいて、3回目の投票の結果、サウジアラビアのSami Al-Basheer氏、英国のMalcolm Johnson氏が電気通信開発局及び電気通信標準化局の局長にそれぞれ選出された。前日には、ロシアのValery Timofeev氏が無線通信局長に2期目の再選を果たした。

- ・ Valery Timofeev氏の略歴
<http://www.itu.int/plenipotentiary/2006/newsroom/elections/bios/timofeev/index.html>
- ・ Malcolm Johnson氏の略歴
<http://www.itu.int/plenipotentiary/2006/newsroom/elections/bios/johnson/index.html>
- ・ Sami Al-Basheer氏の略歴
<http://www.itu.int/plenipotentiary/2006/newsroom/elections/bios/al-basheer/index.html>

E-flash

⑨ SPU Flash Issue No.10 (11月1日)

(出典 : <http://www.itu.int/osg/spu/spunews/index.html>)

- ・ **WSISアクションラインC5及びグローバルサイバーセキュリティに対するパートナーシップ**
WSIS Action Line C5 and Partnerships for Global Cybersecurity

チュニスアジェンダでは、WSISでの合意の実施とフォローアップのための仕組みを作ることがうたわれており、ITUにはアクションラインC5 (ICTの利用に際しての信頼と安全の構築) の推進と取りまとめを求めている。このためITUは、



2006年5月に第1回の推進会議を開催し、以下の三つの重点領域とそれぞれの情報連絡先を定めた:重点領域1 (国家戦略:pgc-ns@itu.int)、重点領域2 (法的枠組みpgc-lf@itu.int)、重点領域3 (監視、警告、事後対応:pgc-wwir@itu.int)。

・スパム対策に向け協調

Countering Spam Cooperation Agenda

2006年12月4～8日に香港で開催されるITU世界テレコム2006の中で、ITUは12月8日にCountering Spam Cooperation Agendaと題するワークショップを開催する。このワークショップでは、関係機関の活動状況や次のスパム対策として有効な方法について意見交換する予定である。

・IPTVの推進

Driving the Future of IPTV

ITU-Tは2006年10月12～13日にソウルで、IPTVグローバルテクノロジーワークショップを開催した。Korea Telecom, Samsung Electronics, IPTV Forum Korea, Telecommunications Technology Associationが主催し、IPTVの現状と技術面、運用面、開発事例、ビジネスモデル、著作権問題、現行法の問題点や今後の動向などが議論された。SPUはプログラム作成で、ITU-Tに協力した。

・市場原理と周波数管理に関するワークショップ

Workshop on Market Mechanism for Spectrum Management

ITUとイタリアのUgo Bordoni基金は、2007年1月22～23日にジュネーブのITU本部ルームCで無線周波数管理の世界動向と成功事例に関するワークショップを共催する。このワークショップでは、周波数の競売や二次売買などについて議論する予定である。議事予定並びに最新情報は、www.itu.int/spectrum/をご覧ください。

・マルチステークホルダー・パートナーシップShaping Tomorrow's Networks

A Multi-Stakeholder Partnership for Shaping Tomorrow's Networks

ITUの戦略企画部門(SPU)、the Ugo Bordoni Foundation

(イタリア)、国連環境計画 (UNEP INFO/RACMAP)、欧州放送連合 (EBU) は “Shaping Tomorrow's Networks (STN)” というマルチステークホルダー・パートナーシップを結成した。このパートナーシップは、ICTの融合を目指すもので、WSISのフォローアップの一環でもある。

・STNパートナーに

Become a STN Partner

Shaping Tomorrow's Networks の詳細 (背景資料、テーマ資料、各国の事例、ワークショップなど) は、STNのウェブサイトwww.itu.int/stn/をご覧ください。

・ITU全権委員会会議2006

ITU Plenipotentiary Conference 2006

第17回ITU全権委員会会議が11月6(月)～24(金)まで、トルコのアンタルヤで開催される。詳細は、ウェブサイトwww.itu.int/plenipotentiary/2006/index.htmlをご覧ください。

・ITU世界テレコム2006

ITU Telecom World 2006

ITU世界テレコム2006 “Living the Digital World” が12月4～8日に香港で開催される。詳細は、ウェブサイトwww.itu.int/WORLD2006/をご覧ください。

・世界情報社会リポート2006：発行

World Information Society Report 2006 : update

2006年7月に発行された世界情報社会リポート2006は、デジタル機会と情報社会の発展を追う年次リポートの第1号である。発行から4か月で、9万人以上のユーザーがダウンロードした。詳細は、ウェブサイトwww.itu.int/wisr/をご覧ください。